



**9月30日生まれのエンペラーペンギンの赤ちゃん
生まれたときは295.9g、生後1か月の体重は？
11月1日（土）計量記念日に公開体重測定！**



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）は、11月1日（土）の計量記念日にちなみ、エンペラーペンギンの赤ちゃん（9月30日生まれ）の公開体重測定を行います。

ペンギンをはじめとする多くの鳥類の保育において、体重の推移を見守ることは非常に重要です。エンペラーペンギンの赤ちゃんは、誕生後に飼育スタッフが初期の人工育雛を行い、体重の変化を見ながら自然育雛にもチャレンジしてきました。

出生時295.9gだった赤ちゃんの体重は、生後1か月でどのぐらいになったのでしょうか？

エンペラーペンギンの赤ちゃん 体重測定について

※報道関係者の皆様向けにパーク開園前に実施いたします。

実施日時：2025年11月1日（土）午前9時30分～午前9時45分

場所：ペンギンベース1階

※赤ちゃんの健康管理のため、時間の変更およびイベントを休止する場合がございます。

計量記念日とは

「計量記念日」は、社会全体の計量制度に対する理解と関心を深めることを目的に、昭和27年（1952年）から経済産業省で定めている日です。現在は、現行の計量法が施行された11月1日を「計量記念日」とし、また11月を「計量強調月間」として、計量制度の普及および社会全体の計量意識の向上を図っています。

【エンペラーペンギンの赤ちゃんについて】

- 孵化日：2025年9月30日（火）
- 産卵日：2025年7月26日（土）
- 孵化日数：66日間 ※平均68日間
- 体重：618.5g ※10月20日（20日齢）測定
出生時体重：295.9g
- 性別：不明 ※1年後を目途にDNAによる雌雄判定を行う予定です。
- 親情報：父親 1997年11月16日搬入（27歳）
母親 1997年11月16日搬入（27歳）



親鳥主体の子育て方法にチャレンジ ～未来の繁殖を見据えて～

アドベンチャーワールドでは当初、赤ちゃんが無事卵からかえり成長することを重視し、体重40kg近くある親鳥が卵をつぶしてしまわないよう人の手で育てる「完全人工育雛」を行っていました。2004年に初めて赤ちゃんが誕生しましたが、完全人工育雛によって育った赤ちゃんは、人間を親と認識し、成鳥となってもペアを作らず、次の世代の繁殖につながらない可能性があります。2012年よりアドベンチャーワールドでは、卵を親から預かり、孵卵器にて孵化させ、その後、赤ちゃんの体重がある程度成長するまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥へ返す「初期人工育雛」という方法にたどり着きました。

【エンペラーペンギンについて】

- 分類：ペンギン目 ペンギン科
- 学名：Aptenodytes forsteri
- 英名：Emperor Penguin
- 生息地：南極大陸およびその周辺
- 寿命：約30年
- 食生：魚類、イカ、オキアミなど。アドベンチャーワールドでは主にオオナゴ、ホッケなどを与えています。
- 繁殖：南極大陸で繁殖するのは、中型のアデリーペンギンと並んでエンペラーペンギンの2種類だけですが、アデリーの繁殖シーズンが、雪溶け後に岩場が露出する夏場なのに対して、エンペラーペンギンはマイナス60度にも至る冬の氷原で繁殖を始め、約120日間にも及ぶ絶食の中ヒナを育てることから「世界で最も過酷な子育てをする鳥」と呼ばれています。およそ5歳で性成熟に達します。
メスは産卵後、餌を取りに海へ行き、繁殖地に残ったオスは絶食状態で約2か月間卵を抱き続けます。
- 特徴：世界最大のペンギンで体長約120cm、体重約40kgに達し、側頭部と胸部上部の鮮やかな黄色が特徴的です。唯一赤ちゃんに模様があるペンギンでもあり、生まれた直後から換羽を迎えるまで、白・黒・グレーの三色をしています。成鳥はキングペンギンとよく似ていますが、キングペンギンは体長約90cmと、エンペラーペンギンと比べると小型で、胸部上部が橙色をしていることから区別できます。



【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

